



～友 愛～

富田中学校だより

学校教育目標

「確かに生きる」

令和 5年 3月 2日

No.25

□RESPECT *リスペクト*

卒業を控え、富田中学校の最高学年・リーダーとして数々の素晴らしい足跡を残してくれた3年生の皆さんに感謝の気持ちを込めてこの言葉をおくります。

リスペクトとは「尊敬する」「敬意を表す」という意味ですが、私が長年携わってきているサッカー界では、ピッチ上の人、それを支え、とりまくすべての人やものを互いに大切に思うことをリスペクト(=フェアプレーの原点)だと伝えています。

それぞれは、サッカーの選手や指導者の向けての文言でしたが、皆さんの生活に当てはめてみました。

「クラスの仲間 暇さえあれば一緒におしゃべりをする大切な仲間」

「見下さない 同じ立場で今ここに並ぶ相手 学校にいるのは自分たちの力をためし、学校生活を楽しむための大切な仲間」

「いつも通う学校 お気に入りの校舎・教室・運動場・体育館 大切な場所 汚さない ゴミも残さない しっかりと掃除をする」

「自分のことは自分でする 自分のためだから 当番だって自分の大切な役目」

「嫌なことがあった…でもチャンス 転ばずにたくましく生きる 頑張る気持ちを大切にする」

「相手の目を見てしっかりと挨拶(握手)する リスペクトの証として」

「学校生活がちゃんとできるようにお世話をしてくれる地域の人たち、どうもありがとう」

「一生懸命働いてくれるお父さん、お母さん、応援してくれるみんな、私の大切な家族」

☆先生は、君たちに会う前には、いつも自分を振り返る。君たちは大切な相手。ちゃんとしていないとはずかしい。

☆もっといい指導者(先生)になりたいから、勉強する。指導は難しいからおもしろい。指導者(先生)は難しい。でも大きな喜びを感じることができる。どんどん進歩する現場と君たちに追いついていけるように、勉強する。

☆君たちの成長を大切に思う。どんどん大人になっていく君たちにいつも驚かされる。学習や経験を積み重ねて、大きく育ててほしい。大人になった君たちの姿が楽しみだ。

☆がんばれ!君たちの精一杯の力を引き出すように応援する。私たちがついていけるから安心して。

私はリスペクトと感謝という言葉は似ていると感じています。いよいよ3年生が卒業します。1・2年生の皆さんは、本校教育目標「確かに生きる」ための力をつけつつ、リスペクトと感謝の気持ちを忘れずに富田中学校の伝統を引き継いでいってほしいと思います。

□2年生 第6回 中学生と語る富田の未来

2月27日（月）6限目、平成29年度から始まり今回で6回目となる「中学生と語る富田の未来」を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、視聴覚室で代表の班が発表し他の生徒は教室でリモート見学する形式で行いましたが、今年度は代表の班だけでなく全員が体育館に集って実施しました。

この行事は学校づくりビジョンの3つの決意のうちの1つ、「地域と協働し高めあう学校」の具現化に向けた活動でもあります。更に2年生としての目的は、①自分たちが住んでいる町「富田」について調べ、富田の未来について考える、②富田の魅力や課題について追究し、持続可能なまちづくりの具体案を発信する、③自分たちが住んでいる町「富田」の地域の人たちとつながりを深める、の3つです。当日は地域まちづくり協議会などから7名の方々にご参加いただきました。

まずは代表4班がPowerPointを用い発表しました。代表班のテーマは、A組6班「わがまち富田を持続可能なまちにするために神社・お寺から町おこしをすればよいのではないか」、A組3班「富田にはどのようなバリアフリーがあるのか」、B組3班「少子高齢化対策のために富田の神社とお寺をどう関係させるか」、C組4班「富田ではどのような災害が起きやすいか」です。

代表班の発表に対し7名の方々から、「地域の活動に中学生はぜひ参加してほしい」、「年々災害が大きくなっている。南海トラフ地震もいつ起こってもおかしくない。そのような状況の中、地域の防災の取組を更に知ってほしい」「祭は100年以上前から伝わっている。持続可能なまちづくりのために、富田プライドのために、ぜひ参加してほしい。そして見たことを発信し引き継いでほしい」「持続可能という言葉が印象に残った。大正時代から伝承されてきたものもある。パンフレット制作するなら協力する」「この先富田を離れても心の中に富田を置いておき、いつか帰ってきてほしい」「中学生の若い力を借りたい」などのご意見やご感想をいただきました。

コロナ禍でこの3年間、地域の行事等に中学生が参加する機会が減ってしまいましたが、今後の感染状況を見ながら徐々にでも生徒の皆さんが地域へ積極的に出て活躍する姿が見られればと思います。更に今後は学校で計画されたものだけではなく、自らの判断で主体的に地域に貢献してもらえることを期待しています。この会は今後も継続して実施していき、地域とともにある学校づくりを更に進めていきたいと思っています。

□卒業式に向けて

2月28日（火）の5・6限目、2年生が卒業式の式場準備を行ってくれました。7日（火）の卒業式に向けて、まずは1回目の準備です。2年生の皆さん、ありがとうございました。今後も全校生徒・全教職員で万全の状態となるよう、一つ一つ丁寧に準備等に取り組んでいきます。

今年度の卒業式参加者は、卒業生、保護者（各家庭2名以内にさせていただきました）、市長・教育委員会臨席者（1名）、地域関係者（2名）、教職員です。

在校生は参加しませんが、2年生から送辞を述べてくれる杉田 実優さんと2年生の生徒会本部役員、学級委員の人たちに出席してもらいます。少ない人数ではありますが、在校生全員の思いも込めて、心のこもった卒業式にしたいと思います。

